ヒノキのぶんぶんごま

西川材ヒノキの間伐材を使って、八角形のぶんぶんごまを作ります。カラーペンで好きな絵を描いて、回した時の色の違いを見るのも楽しみです。※穴を自分たちであけることもできます。

対象	実施時期	定員	所要時間
３歳以上	通年	５～１５０人	１時間

利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料
なし	カラーペン・竹ぐし・ハサミ・ゴミ入れバケツ・（穴あけをする場合：木ねじビット）	木片・紙やすり・タコ糸

ねらい

・昔の遊びを楽しむ。
・想像力や表現力を高める。
・西川材間伐材活用。
・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具を準備していただきます。
◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください。

準備（１作業台　２～３人程度）

①　作業台（丸太イス）を準備します（活動場所がピロティ、車庫の場合）。
②　各自に木片・紙やすり・タコ糸を配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。

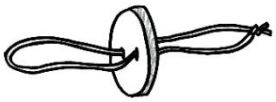
実施

【穴あけをする場合】

①　木片に型紙をあてて穴の位置に印をつける。
②　木片の印に木ねじビットの先をあてて木片を回して穴をあける。

【穴あけをしない場合】

①　木片の両面に色を付けやすくするため、紙やすりを使って表面がつるつるになるまでみがきます。
②　つるつるになったら好きな絵や模様をカラーペンで両面に描きます。
③　描き終わったら木片の穴に糸を通して先を結びます。

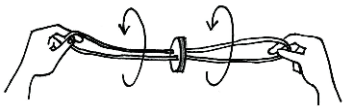


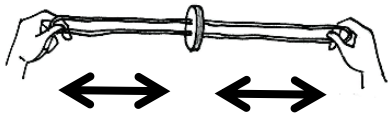
※糸の先端が解れて穴に通りにくい場合は竹ぐし、または針金糸通しを使って通します。もしくはハサミで少し切ります。

④　先端を堅結びします。

まわしかた

・30～40 回程度、同一方向に回します。





※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

① 道具の数を数えます。
② 道具類は最初にあった場所に戻します。
③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。
④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。
⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を書面にて当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

・作品を披露し合いましょう。
・ふりかえり。

留意点

・穴あけの際に木ねじビットでけがをしないよう気をつけましょう。
・回して遊ぶ際に顔や手、他の人に当たらないよう気をつけましょう。
・髪の毛を巻き込むことがあるので、髪の毛が長い子本人、周辺の子は注意して回しましょう。

SDGs への取組

・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。